

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
必修	2 単位	総合英語	小野澤由紀子	1 年次	春・秋

授業のキーワード	「聴く」→「書く」→「話す」
授業の概要・目的	自分の言いたいことを英語で表現できるようにします。そのために、日常の具体的な場面を設定しながら、まず自分の考えを文字で書いてみます。それをくり返すうちに、英語の表現力がつきます。英語の総合的能力を身に付けます。
履修のアドバイス・前提科目等	テキストの予習、復習をして下さい。

### 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	シラバスに基づき授業の概要を説明します。	第 9 講	Environmental Protection	1. 形式主語構文 It is~ (for...) to+ 原形 2. 現在完了形 have(has) + 過去分詞
第 2 講	Self Introduction	1. 「~すべきだ」(Should+原形) 「~しておけばよかったのに」(should have+過去分詞)の表現 2. 英語のことわざ	第 10 講	Telephone	Telephone
第 3 講	College Life	1. 「言うまでもなく」(needless to say), 「残念ながら」(sad to say)などの不定詞の慣用表現 2. 「どれほど~でも」	第 11 講	Driver-oriented Society	1. 分数や倍数の表現 2. 「~もの」(as many as)、「せいぜい~」(no more than ~)などの数量強調の表現
第 4 講	Club Activities	1. 「思う」のさまざまな表現(guess, hope, be afraid 等) 2. 「~してごらん、そうすれば」の表現(命令文+and...)	第 12 講	Travel Abroad	1. 「何とおっしゃいましたか」と聞き返す表現 2. 「~していませんね」付加疑問の表現
第 5 講	A Party	1. 「とても~なので、...だ」の表現 so ~that... 2. 「とても~なので、...できない」の表現 too ~+ to + 原形...	第 13 講	Education	1. 分詞構文 2. 倒置
第 6 講	Cross-cultural Understanding	1. 「できるだけ~する」の表現 as+ 形容詞/副詞の原級 + as + possible 2. 「なんと~なのだろう」という強い驚きの表現(感嘆文)	第 14 講	Homestay	1. on~ing 時を表す慣用表現「~するとすぐ」 2. 比較構文「~すればするほど、ますます...」the + 比較級、the + 比較級
第 7 講	Seminar	1. 関係代名詞 that, who, whose, whom, which 等 2. 関係副詞 where, when, why 等	第 15 講	試験	
第 8 講	試験		評 価 方 法		試験 80% 授業態度と出席状況 20%
備 考 (関連する資格・試験等)		英語コミュニケーションの力がつき、英検やTOEICの得点向上に役立ちます。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		

青木庸效、江利川春雄著

「Let's Write and Communicate!」金星堂

授業時に紹介します。